

北部病院だより 第123号(2018.9)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】『北部病院；15年前と今』
【TOPICS】秋期公開講座のご案内
【医師の配属・異動・退職】
【TOPICS】平成30年度大規模地震時医療活動訓練
【TOPICS】保健医療学部1日体験入学
【TOPICS】栄養科だより
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【TOPICS】ロビーコンサートのご案内
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言 『北部病院：15年前と今』

今年の夏は大変暑かったですが、皆さま変わりなくお過ごし出来ましたでしょうか。

15 年間北部病院に勤務し、はじめてここに登場する形成外科の大塚尚治と申します。15 年前と現在で、北部病院がどのように変わったか、私的感想からはじめます。



形成外科
大塚 尚治 教授

全体として 15 年前の北部病院は、やる気のある人が多く活気に溢れていました。当科は他科と合同で診療にあたることが多く、頭蓋顎顔面外科（脳神経外科・口腔外科・当科）、頭頸部外科（耳鼻咽喉科・麻酔科・当科）、手の外科（整形外科・リハビリテーション科・当科）、四肢の再建外科（整形外科・麻酔科・当科）、皮膚軟部組織腫瘍の診療班（皮膚科・整形外科・腫瘍内科・当科）、胸壁・腹壁の再建外科（外科・消化器センター・呼吸器センター・麻酔科・当科）、口唇顎口蓋裂診療班（言語視聴覚士・小児科・耳鼻咽喉科・麻酔科・歯科・小児歯科・哺乳指導看護師）、褥瘡診療班（WOC 認定看護師・各病棟責任看護師・リハビリテーション科医・皮膚科医・薬剤師・栄養士・当科）等、複数の診療科・パラメディカルが一丸となって仕事を行っていました。異なる診療科同士で十分に症例を検討し、皆で力を合わせて良い結果を出そうとする意識が、現在以上に高かった様に考えます。そうか、これが昭和大学北部病院の特性なのだと思います。その後 5-10 年間は、皆で力を合わせ、他の昭和大学附属病院が追従出来ないくらいの勢いで進んでいたと考えます。

その後 10 年以上時間が経過すると、上層部あるいは経験者の数多くが変わっていきました。そのためか、一時はそれら診療班の結束はやや減弱した感もありました。まあ、仕事をやり尽くしてしまった事もあり、対象とする症例数が減ったのかもしれません。しかし、現在はまた上昇気流の感があります。15 年前にいた上層部経験者同等の人が増えてきているのでしょうか、いや違う、これはひとりひとりの意識の違いだと思います。『皆で一丸となって立派な仕事をしよう』という意識です。この意識は上から言われて生じるものではないでしょう。自らが自覚し、一度でも合同で良い結果を経験した喜びを共有した各人が、自然とその意識を発するのではないのでしょうか。この意識は、それを知らない周囲の各人に経験させ、実感させる必要があると考えます。

前述したチーム医療では、医師、看護師、外来受付各担当者、医療課各担当者、管理課担当者、薬剤師、栄養士等、かかわる部門の方々が、十分にコミュニケーションをとり、皆で一丸となって北部病院をさらに良くしていこうという意識が大切で、現状で、それらは再度高まってきたと感じています。さらに北部病院を向上させるため、些細なことでも進んで相談し合い、協力してひとつの目標に進めるように気を使いたいと思います。

そのためには、常に病院全体のことを念頭に置き行動しなくてはならないと考えます。例えば、良い結果が得られ、興奮して喜び合っている、それがエレベーター内や通路歩行中の私語であれば、病院としては良いとは言えないでしょう。全体として行動するという意識も大切なのだと考えます。それは院内のみならず、昭和大学人として社会全体に貢献するのだという意識があれば、さらに発展出来るのではないのでしょうか。



TOPICS 秋期公開講座のご案内

平成 30 年度秋期市民公開講座を以下のとおり開催する運びとなりました。

皆さんお誘い合わせのうえ、是非お越しください。

- 日 時：2018 年 10 月 13 日（土）
○受 付：13：00～（予定）
○会 場：昭和大学横浜市北部病院 西棟 4 階講堂
○受 講 料：無料



○講演内容：

〈平成 30 年度 春期公開講座の様子〉

第 1 部「化学療法治療について」13:30～

薬剤部（病院薬剤学講座）講師

縄田 修一

第 2 部「放射線治療について」14:30～

放射線技術部 技術部長

昭和大学大学院 保健医療学研究科 講師

野田 主税

○申込方法：①院内設置の受付箱に申込書を投函

- ・中央棟 2 階 エスカレーター横
- ・中央棟 1 階 総合案内
- ・中央棟地下 1 階 時間外受付

②FAX または E-mail にて申込書を送信

※申込書は院内で配布・ホームページに掲載しております。

○申込書送信先：

FAX：045-949-7117

E-mail：nhkougai@ofc.showa-u.ac.jp

○問い合わせ先：

管理課 045-949-7000（代表）



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【他施設から】

・山村 彩（麻酔科） 君津病院 麻酔科から 2018 年 9 月 1 日付

【附属施設から】

・阿部 祥英（こどもセンター） 昭和大学病院 小児科から 2018 年 9 月 1 日付

【学外研修戻り】

・小川 正隆（消化器センター） 2018 年 9 月 1 日付

【国内留学戻り】

・神山 勇太（消化器センター） 2018 年 9 月 1 日付

【海外留学戻り】

・中村 俊紀（こどもセンター） 2018 年 8 月 31 日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・大山 伸雄（こどもセンター） 昭和大学病院 小児循環器内科へ 2018 年 8 月 31 日付

・青木 真史（こどもセンター） 昭和大学病院 小児科へ 2018 年 9 月 1 日付

・茂木 桜（こどもセンター） 藤が丘病院 小児科へ 2018 年 9 月 1 日付

【学外研修へ】

・倉田 知幸（消化器センター） 2018 年 9 月 1 日付

TOPICS 平成 30 年度大規模地震時医療活動訓練

平成 30 年 8 月 4 日（土）に行われた大規模地震時医療活動訓練に当院 DMAT が参加してきました。

DMAT とは、「災害急性期に活動できる機動性をもったトレーニングを受けた医療チーム」です。当院は、災害拠点病院として DMAT を保有し、定期的に訓練をしています。今回は、香川県に参集し、その後高知県に医療支援に向かうなど、全国規模の訓練に参加することができ、とても実りのある一日となりました。



〈他県 DMAT との連携風景〉
写真左：当院救急センター
神尾医師



〈当院 DMAT 集合写真〉

TOPICS 保健医療学部 1 日体験入学

平成 30 年 8 月 2 日（木）に保健医療学部 1 日体験入学を当院で行いました。

昭和大学保健医療学部への進学を考えている高校生を中心に看護学科 20 名・理学療法学科 5 名・作業療法学科 5 名の計 30 名の参加者を受け入れました。

午前中のプログラムは、各学科に分かれて病棟見学を行い、お昼は学生と歓談しながら、大学生活への不安や楽しみを話し合いました。

午後のプログラムは、まず、感染管理対策演習でマスクや手袋などの着用体験を行いました。その後、看護学科においては点滴などの医療物品を扱う体験を行い、理学療法学科は検査測定法の体験、作業療法学科は上肢装具（スプリント）の作成などの体験を行いました。高校生のみなさんにとって貴重な学びの場となり、楽しんでいただいていたように思います。

体験入学に来ていただいた学生が昭和大学へ入学し、当院で勤務されることを心より願っております。



〈救急外来見学の様子〉



〈本学卒業生による体験談のスピーチの様子〉

TOPICS 栄養科だより

夏の猛暑も落ち着きはじめ、風の中にほのかに秋を感じる季節となりました。

9 月 23 日は秋分の日です。この日は病院食でも、おはぎを提供させていただく予定です。

さて皆さん、なぜ秋分の日にはおはぎを食べる風習があるのか、ご存知でしょうか？ 1 年のうち 2 回、秋分の日と春分の日、夜と昼の時間がほぼ同じであり、太陽が真東から昇り真西に沈みますね。

仏教では『西方浄土』という言葉があり、西は浄土、東は現世を表し、西に念仏をとなえれば安らかに最期を迎えられるとされています。秋分の日と春分の日、太陽が真東と真西を通ることから、浄土と現世がつながる日と考え、ご先祖様を敬い供養する日となりました。赤い小粒の小豆は魔除けになるといわれているため、おはぎとしてお供えし、ご先祖様への供養とする風習ができたといわれています。

暑さ寒さも彼岸まで。季節の変わり目となりますので、お体にお気をつけてお過ごしください。



昨年度の行事食

〈栄養科 星川麻美〉

患者さんからのご意見・ご要望

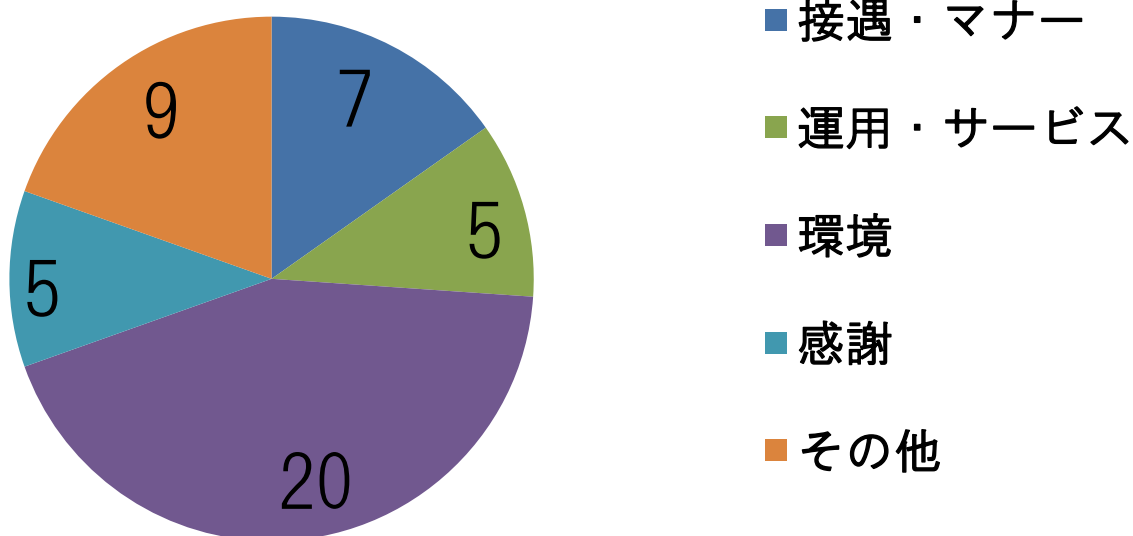
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<運用・サービスについて> 照明に蛍光灯を使用していますが、LEDに変更してはいかがでしょうか。 他 19 件	節電に向けての貴重なご意見ありがとうございます。 当院でも、平成 25 年より省エネルギー対策の一環として、照明器具の LED 化に取り組んでおります。 現在、各階エレベーターホール・廊下エリア・トイレエリアなど共有部分の LED 化が既に完了し、今後新たに各階病室・診察室などの LED 化を進めております。 貴重なご意見をありがとうございました。
<環境について> 院内が外よりも暑く、少々具合が悪くなりました。 もう少し涼しくしていただけると助かります。 他 19 件	大変ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。 当院では、環境対策などを目的としたクールビズや地球温暖化の原因となる CO2 削減に向けて、冷房温度を一定管理するなど環境対策に取り組んでおります。しかしながら、今年は昨年以上の猛暑とのこともあり、患者さんがより快適に過ごせるよう可能な限り対応させていただきます。 なお、病室におきましても、お部屋内に温度調整コントローラーを設置しておりますので、気兼ねなく院内スタッフまでお声がけください。 貴重なご意見ありがとうございました。

平成30年7月
ご意見・ご要望の総計
46件



診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2017年7月(入院:31日・外来:25日)、2018年7月(入院:31日・外来:25日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2017年7月	19,106人(616.3人)	27,519人(1,100.8人)	565件(18.8件)	717件(35.9件)
2018年7月	19,132人(617.2人)	27,659人(1,106.4人)	662件(22.1件)	739件(35.2件)

TOPICS ロビーコンサートのご案内



【ロビーコンサートのご案内】

日時:平成30年9月21日(金)19:00~(予定)

場所:中央棟1階 会計前ロビー

吟詠:馬場 暁風さん【詩吟】



※日程及び内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



編集後記

立秋が過ぎ、季節は本格的に秋に向っています。秋といえば十五夜ですね。十五夜は“中秋の名月”や“芋の名月”ともいわれ、今年は9月24日(月)です(旧暦の日付は新暦に直すと毎年ずれが生じるため、十五夜の日付は毎年異なります)。十五夜は、お団子やススキをお供えする習慣があります。江戸時代の後期頃から五穀豊穡の感謝を込める意味で、収穫したお米で作ったお団子をお供えするようになったそうです。丸い形は縁起がいいということで、お団子を食べることによって健康や幸せになれるとも考えられていました。また、ススキは古くから魔除けの効果があるとも信じられていたため、十五夜の後にススキを軒先につるすことによって、1年間病気をしないという言い伝えもあるようです。今年の十五夜は綺麗な月を眺めて、お団子を頬張りながら1年の健康を祈るなど、一味違った楽しみ方をしてみたいはいかがでしょうか。

〈リハビリテーション室 作業療法士 佐野 太基〉



北部病院だより 第123号
平成30年9月1日発行
発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会 委員長)
発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。